



見城さん(真ん中)を囲み笑顔の参加者

農業がんばります！

～新規就農応援事業座談会～

JAグループ

平成29年度新規就農応援事業

もっと応援します
新規就農

新規就農応援事業がさらに活用しやすくなりました。

種や苗、肥料の購入など、農業経営にかかる費用を助成します。

事前申請期間(事業エントリー)
平成29年9月1日～平成30年2月28日

助成申請期間(本申請)※事前申請が必要です。
平成30年5月1日～平成30年6月30日

対象者
独立新規就農者
※親元・雇用就農者は対象外となります

助成金額
**1人あたり
年間最大20万円**
(1人あたりの申請は3回まで)

※事業開始の補助を受けるにあたっては、事前申請が必要です。事前申請がない場合は、本申請までお申し込みできません。
●助成額は上限があります。そのため、多数の申請がご応募にはお返金できない場合があります。
詳しくはお近くのJA-担い手サポートセンターまたはJAバンクアグリ・エコサポート基金へお問い合わせください。

事業実施主体 JAバンクアグリ・エコサポート基金 <http://www.jabank-aes.or.jp>

平成29年度新規就農応援事業パンフレット

J Aバンクアグリ・エコサポート基金と農林中央金庫青森支店は10月24日、弘前市のアートホテルで新規就農応援事業座談会を開いた。同基金の理事でエッセイスト、青森大学の副学長などを務める見城美枝子さんと当JA管内の女性新規就農者3人、JA営農課TAC班の久塚和主任が出席した。

高齢化が進む中で新規就農者が農村地域に与える活力や役割は大きく、同協会では「新規就農応援事業」を実施している。今回は、女性農業者たちのさまざまな活動が厳しい環境にある地方・農業の現場を活性化させていることからテーマを「地域農業を開く女性の力・役割」とし、女性新規就農者から就農のきっかけや苦労、同事業の活用した感想など話し合った。同事業が手助けになったこと、女性としてでなく「農業者」として見られたい悩みなど終始話題は尽きなかった。

見城さんは「女性が注目される時代は終わり、これからは男女が共同参画する時代。3人ともとても頼もしく、新しい女性たちが育って増えているのでうれしい」と話した。

J Aでは今後行政と連携し、同事業の周知と新規就農者へ勉強会実施などのサポートを強化していく。

座談会の詳しい内容は、12月5日発行の日本農業新聞に掲載する予定。